

## 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	「御渡」研究と普及活動と人材育成
事業主体 (連絡先)	茅野青樹会
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,146,692 円 (うち支援金 : 1,717,000 円)

### 事業内容

高島藩で経済的理由から廃曲になった謡「御渡」の研究調査を行った。原本が観世流の資料館にあり何度も青木師匠と梶原が通い復刻の許しをもらった。

上記を行いながら人材募集。御渡の歴史や構成にいたる原録などの関係諸氏を公演に招き、開催場所をゆいわく茅野。発表会を市民館として研究は毎月1回、公演は2カ月に1回、発表会を30年1月28日実行した。

会員募集のポスター、チラシを作成し、関係市町村・教育委員会等にも配布した。



【舞台の様子】

### 【目標・ねらい】

- ① 「御渡」の調査研究、普及活動
- ② 「御渡」を実践できる人材育成
- ③ 成果発表会の開催

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

上記会員を40名から50名に増やし、謡「御渡」習得者に対して観世の許可を得て、終業証書と御渡指導員の肩書を与え(筋違いなど起こらぬように)各地区に練習場所を置くように企画した。

伝統文化であるからあまり崩れることの無い様この知的財産を大切に保護し、文化向上と県民の健康維持に寄与できればと思い、この文化維持により人の流れを期待でき、観光産業、知的観光資源として活用できるようにしたい。

### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

敷居が高いと言われるが、指導に当たる師匠の人柄で若者が集まっており、学生が入会したことは成功例といえる。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

30年度は練習場所も現在2か所決まっている。謡本も完成し、毎月の練習と次回の発表会が期待される。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある